

上田市文化会館 大ホール

入場  
無料

現地開催  
部分オンライン

2025年3月20日（木・祝日）14:00～16:30

テーマ 後世に受け継ぎたい草原の価値

[日時] 2025年（令和7年）3月20日（木・祝日）14:00～16:30

[場所] 上田市文化会館 大ホール

上田市材木町1-2-3 TEL. 0268-22-0760

[主催] NPO法人信州草原再生

[共催] 筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所

[後援] 環境省、長野県上田地域振興局、上田市

[参加] オンライン参加\*の方は、右のQRコードよりお申込ください。  
会場参加は申込不要ですが、申し込んで頂ければ参加者数の把握  
の上で助かります。

[費用] 無料

- [内容]
- 14:00～14:05 開会の挨拶
  - 14:05～14:25 信州の草原の生き物はすごい（丑丸 敦史）
  - 14:25～14:45 草原の新たな活用の可能性（上野 朋子）
  - 14:45～15:05 太郎山系の縦走路：再生活動20年（早川 潤）
  - 15:05～15:25 イヌワシ保全の半世紀（片山 磯雄）
  - 15:35～15:55 楽しい草原再生～歴史の価値を引き出す方法～（田中 健太）
  - 15:55～16:30 登壇者対談

参加申込



草原

※オンライン配信は、司会・挨拶・全講演が対象です。配信機材の関係  
上、会場からの質問の音声は入りませんが、講演者による回答は配信さ  
れます。登壇者対談は配信されません。

NPO法人  
信州草原再生



NPO法人信州草原再生  
新規会員募集中

- 正会員（個人） 年会費10,000円
- 正会員（団体） 年会費50,000円（複数口可）
- 賛助会員 年会費 3,000円（複数口可）
- 学生会員 年会費 1,500円

NPO法人信州草原再生 長野県上田市住吉392-4 shinshu.sogen@gmail.com

うしまる  
丑丸 敦史



信州の草原の生き物はすごい！

【講師プロフィール】  
NPO法人信州草原再生理事  
神戸大学国際人間科学部教授。神戸大学では里草地・採草地における多様性の維持機構の解明等を研究テーマとしている。

上野 朋子



草原の新たな活用の可能性

【講師プロフィール】  
NPO法人信州草原再生理事  
大東文化大学非常勤講師。トレイルランナー。登山やスキーなど四季を通じてその時々スタイルで山に親しんでいる。国内外のフィールドへ積極的に足を運び、レースへの出場とともに、さまざまな形でのチャレンジも続けている。斑尾フォレストトレイル50km優勝、Cougar Mountain Trail race (米国) 優勝など。

早川 潤



太郎山系の縦走路：再生活動20年

【講師プロフィール】  
NPO法人信州草原再生代表理事  
太郎山系を楽しくつくる会代表。荒廃した太郎山系の縦走路を仲間と共に20年に亘ってボランティアで整備し続けている。小学生の学校登山に向けての登山道整備、太郎山スカイランニングに向けての登山道整備や運営等、1年を通して活動を行っている。

片山 磯雄



イヌワシ保全の半世紀

【講師プロフィール】  
長野イヌワシ研究会会長  
幼少期から野生動物に興味を持つようになる。1974年より県内のイヌワシ探索を開始、当初は良かった繁殖率が年々悪化する中、長野県イヌワシ保護回復事業及び環境省信越自然環境事務所、中部森林管理局東信森林管理署、日本自然保護協会による浅間山イヌワシ復活プロジェクト等に関わり、保護回復に尽力している。

田中 健太



楽しい草原再生～歴史の価値を引き出す方法～

【講師プロフィール】  
NPO法人信州草原再生代表理事  
筑波大学山岳科学センター准教授。専門は山・森・草原の進化生態学・保全生態学。マレーシア熱帯雨林の研究で京都大学の博士号取得。北海道大学・英国シェフィールド大学の研究員を経て、2008年に筑波大学の菅平高原実験所に着任。草原の豊かさとその衰退に驚き、2013年頃から草原の研究と保全活動を本格化。

上田市の代表的な草原



牧場、スキー場



山城跡



ため池



草原を代表する  
ツリガネニンジン

## ▶▶▶ 知ってください草原の現状

### 草原の約92%が消失

この100年で約92%の草原が消失しています。以前は、農業には牛や馬を使い、屋根は茅葺、肥料等としても利用する生活に欠かせない場所でした。

### 希少植物の宝庫

日本の絶滅危惧種の3～4割は草原に依存していると言われています。草原の消失により、一様に大量絶滅の危機に瀕しています。

このシンポジウムは環境研究総合推進費 (JPMEERF20234005) の成果を活用しています